

## 令和6年度 2学期始業式あいさつ

皆さん、おはようございます。

2、3年生は水曜日からすでに学校が始まっていますが、今日から全学年揃っての2学期が始まりました。

皆さん、夏休みはどうでしたか？充実した夏休みを過ごせましたか？

この夏休み、暇高では新しい企画がたくさん行われました。まずは、1学期の終業式で皆さんに協力をお願いした「雁屋江瀬美盆踊りwith暇高生」。たくさん暇高生が参加してくれて大盛況でした。アンケートに答えてくれた暇高生の全員が「楽しかった」と回答してくれました。私も皆さんと一緒に踊れてとても楽しかったです。地域の方からは、「暇高生がたくさん祭りに来て踊ってくれて嬉しかった」、「暇高生の言葉使いが丁寧で、暇高生と接することができて良かった」、「南海トラフ巨大地震警戒注意報が出る中で、暇高に行けて防災の面からも安心できた」、「プロが制作したようなポスターが凄かった」など、たくさん感謝の言葉をいただきました。最近、暇高生を見ると、「盆踊りに来てくれた暇高生や」と暇高が身近に感じられるようになったそうです。地域とのつながりが深まり、本当に良かったと思います。スタッフをしてくれた1、2年生の皆さん、クラブ活動や講習が終わった後に参加して一緒に盆踊りを踊ってくれた皆さん、準備や後片付けを手伝ってくれたサッカー部や硬式野球部の皆さん、ありがとうございました。

来年度以降、「雁屋江瀬美盆踊りwith暇高生」を持続可能なイベントにしていくためにはどうしたら良いのか、皆さんの意見も聞きながら考えていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

また他にもこの夏休みは、SSHタイ海外研修や大阪地方裁判所での裁判団体傍聴、体験スノーケル・ダイビング講習会、数学探究合宿など、多くの生徒が貴重な体験をしました。さらに、SSH全国大会では、本校代表の3年生2人が数学・情報分野で、ポスター発表賞を受賞しました。本校がSSHに指定されて13年になりますが、初めての快挙です。そして、毎日、酷暑の中でクラブの練習や合宿に参加して頑張っていた皆さん、夏季講習や「体育会勉強部」で黙々と勉強していた皆さん、皆さんの努力に敬意を表します。

さて、今年の夏は、4年に一度のオリンピック、パリオリンピックが開かれました。8月28日からはパラリンピックも始まります。私は、スポーツ観戦が好きなので、LIVEやデイリーハイライトで観ていましたが、有観客はやはり良いですね。日本選手も大活躍で盛り上がりました。パリオリンピックは「広く開かれた大会」をスローガンにしていますが、特に開会式や閉会式、競技ではスケートボードや新種目のブレイキンなどストリートカルチャーの種目に、「多様性(ダイバーシティ)」を感じました。

「多様性」は年齢や性別、人種、国籍など外見的にわかりやすい「表層的な多様性」

と、性格や考え方、価値観、性的指向など外見からは判断しにくい「深層的な多様性」に大別されます。

皆さんは、「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いたことがありますか？「アンコンシャス・バイアス」とは「無意識に潜む偏見や思い込み」のことを意味します。誰もが知らず知らずのうちに偏ったものの見方をしたり、何気ない発言や行動で相手を不快にさせたりすることがあります。

2学期には、授業や部活動に加え、体育祭や修学旅行、遠足など、たくさんの行事があります。そこでは、一人ひとりが自分の中の「アンコンシャス・バイアス」に気づき、「表層的な多様性」だけでなく、「深層的な多様性」も認めて尊重する「寛容性」がとても大切になります。皆が意見を言うことができる。皆がその意見に耳を傾けることができる。その中でコンセンサスを作り、協力して一つのものを作り上げる。これが最高の「寛容性」であり、素晴らしきです。皆さん、LINE等のSNSの使い方など日常生活も含めて、ぜひ「多様性」と「寛容性」を様々な場面で体現してください。期待しています。

最後に、1学期の終業式で、「誠実に努力する人に運命は開ける」という渋沢栄一氏の言葉を紹介しました。

「努力とは息をするように続けられる」ことです。短期的な成果を期待され、無理して頑張らないといけない時もありますが、本当のゴールはずっと先にあって、大事なものは継続です。特に3年生の皆さん、すぐに結果は出ないかもしれませんが、心配しなくても畷高生は秋からぐっと伸びます。すぐに結果を求めずに自分を信じて息をするように努力を続けてください。努力する過程が皆さんを成長させてくれます。

我々教職員も皆さんをサポートするため、全力で努力していきます。

では皆さん、楽しく充実した2学期にしましょう。